

福井市社北小学校

令和5年度 8月号

R5.8.28 発行

〒918-8055 福井市若杉4丁目143

☎0776-35-2821 (fax:35-2719)

Mail : y-kit-e@fukui-city.ed.jp



♪学校のブログへは、
こちらからどうぞ♪
「社北小 Diary」でも検索
できます↓↓HP から
もアクセス可能です。



子供たちや学
校の様子をお知
らせします

暑い中ありがとうございました！ PTA 学校清掃奉仕 8月20日



夏休み中の8月20日(日)、PTA 学校清掃奉仕が行われました。お盆が過ぎたとは言え、今年は特に暑い日になってしまいました。しかし、多くの保護者の方や、宿題を提出に来た子供たちが、奉仕作業に取り組みました。

校庭の草むしりや側溝の泥上げ、日頃なかなかできない、体育館ギャラリーやお手洗いなどの掃除をしていただきました。おかげさまで、色々なところが大変きれいになり、夏季休業明けを気持ちよく迎えることができました。

本当にありがとうございました。



友情たんぼで稲刈り



5年生は、学校教育田の稲刈りを行いました。田植えの時と同様に、真っ青な空の下で、子供たちは稲刈りをしました。社北公民館長の間さんから、「一生に一度の稲刈り体験を十分に楽しんでください」とのお話がありました。いつの間にかすっかり黄金色に染まったたんぼの稲。子供たちは、田植えの時とはまた違った表情でした。収穫できることの喜びでいっぱいだったようです。今回も、お手伝いの方に来ていただきました。たくさんの方のお陰で、暑くてもがんばれましたよ！





あたりまえについて

今日、元気に子供たちが登校してきました。夏休み前の朝礼では子供たちに「良いあたりまえをあたりまえにして、最高の夏休みを！」と伝えてありました。子供たちにとっての「よいあたりまえ」

とは、『早寝・早起き・朝ご飯』『決まりを守る』といった、これまで普通にしている(していた)ことです。今朝の朝礼で子供たちに、「最高の夏休みでしたか？」とたずねたところ、元気に「はい！」と返ってきました。うれしいです。

この「あたりまえ」から、「凡事徹底(ぼんじてってい)」という四字熟語を思い浮かべます。経営の神様、パナソニック創業者の松下幸之助さんや、イエローハット創業者の鍵山秀三郎さんが座右の銘としていた言葉です。特別なことではなく、平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。つまり、物事を成し遂げるには、あたりまえのことをあたりまえにできるか、徹底してできるかにかかっているということです。松下幸之助さんは、取引先の企業を訪問された時、経営がうまくいっているかどうかを瞬時に見抜かれたというエピソードがあります。その理由は、シンプルで、1つめは、従業員の「あいさつ」、2つめは、職場の「整理・整とん」、3つめは、トイレなどの「掃除」です。「あいさつ」を交わすことで、コミュニケーションの輪が広がります。整理・整とんをすることで、すがすがしい気持ちになります。また、トイレなど職場を美しくすることにより、心が磨かれます。つまり、あたりまえのことがあたりまえにできるかで、店の経営が分かるというのです。この「凡事徹底」は、学校生活を送る上で、大いに参考になる考え方です。平凡なことでも長い間、ずっとやり続けていくことで、自分を成長させていくことができる！と考えられます。

しかし、物事を徹底して続けるということは難しいこと。「少しぐらい手を抜いても…」「みんなもできていない」など言い訳をしそうになります…。が、私たち教職員も、子供たちの範となるように努力していきたいと思います。

それぞれのご家庭でも、「我が家の『あたりまえ』って何かな？」と、話題にしてくださり、その『あたりまえ』を、お子様が実践・継続できるようご支援いただくと大変うれしく思います。

夏休み前に、子供たちに
あたりまえって？と話を
しました → → →

しぜん
ふつうに
できるからから
あたりまえ

どんなことでも
つづけられてるから
あたりまえ

正しいことだから
あたりまえ